



喜入中学校 研究公開

鹿児島市立喜入中学校研究公開 海外（ベトナム共和国）派遣（高校生）事業 報告

本年度も充実のうちに青少年赤十字活動を終えることができ関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。中でも研究推進校として昨年十一月に、二年間の研究の成果を見事に発表してくださいました鹿児島市立喜入中学校の皆様には重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年十月に文部科学省が日本人の意識を深めるため五年おきに実施している「国民性調査（二〇一三）」の結果を発表しました。日本人の長所を聞いたところ、「勤勉」「礼儀正しい」がともに七十七％で一位、「親切」が七十一％で第三位でした。これを見て、自己評価ではありますが、まだ日本人も捨てたものではない大丈夫だと思ってくれました。これは、日本人が長い間培ってきたもので、世界に誇れる国民性だといえます。

同時に感じたのが、青少年赤十字が目指すものと重なる部分が多いということです。自分自身を高め、世界の人々から尊敬され信頼される日本人を目指すという点で大きくかわつてきます。青少年赤十字の「ちかい」にあるように、「人のためと郷土社会のため 国家と世界のために つくす」日本人を育てるためにこれからも青少年赤十字活動に取り組んでいかなければならないと思うことです。

来年度も更なる御指導・御協力をよろしくお願ひいたします。



青少年赤十字指導者協議会
会長 有馬 修吾

世界に誇れる
日本人の育成

昨年一月に神奈川県湘南国際村センターで開催された「青少年赤十字研究会」に参加しました。この研究会は、全国各都道府県の青少年赤十字を担当する指導主事等を対象とし、青少年赤十字を推進する意図やその意義を理解することを目的としています。講義で一番印象に残ったことは、「児童生徒の成長のために、教師自身が気づき変容することである。」という講師の言葉です。そのために、児童生徒や教職員を対象としたリーダースhipトレーニングセンターなどの講習会が年間を通して実施されているところです。

青少年赤十字の経験者は非経験者より周囲や社会に目を向ける傾向が強いという調査結果があります。具体的には、青少年赤十字経験者はボランティア活動に積極的に取り組んだり、寄付や募金に積極的に協力したり、災害に対する備えをしたりにしている割合が高くなっています。これは加盟校で、一〇〇文字作文コンクールや一円下募金、ペットボトルキャップ回収、地域の清掃活動、老人ホーム訪問などの活動を体験していることが理由として考えられます。

青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」は、学習指導要領における「生きる力」の育成にもつながります。これからの青少年赤十字活動がさらに充実することを期待しています。



県教育庁義務教育課
指導主事 楠原 豊

「青少年赤十字活動に
期待すること」

かごしまJRC

発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)252-0600

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

第6ブロック青少年赤十字海外（ベトナム共和国）派遣事業

参加者 弥栄陸斗（鹿児島情報高等学校3年）、三井里菜（鹿児島高等学校3年）
春田純二（指導者、鹿児島情報高等学校教諭）

期間 平成26年8月17日（日）～23日（土）

主な視察先

日本国大使館表敬訪問、ハノイ市内視察、TOTO ベトナム工場見学、ベトナム赤十字社本社表敬訪問、ベトナム赤十字JRCメンバーとの交流、世界遺産ハロン湾視察、マングローブ植樹視察・体験活動 等



海外派遣事業を終えて。

鹿児島高等学校 三井 里菜

今回のベトナム海外派遣を通して、ベトナムの歴史や文化についてたくさんを知ることができ、なかなか行くことのできない日本大使館やマングローブ植樹、TOTOの工場の見学など多くの体験をすることができました。

私が今回、日本に帰ってから一番伝えたいと思ったことは、ベトナム戦争の時にまかれた枯葉剤の影響により苦しんでいる人々がまだたくさんいることです。児童院の訪問をした時は、枯葉剤の患者の子供やエイズなど様々な病気で苦しむ子供達に会うことができました。あまり環境が良いとはいえず、親に甘えることすらできない。環境を良くするためにも、もっと国のサポートや私たち先進国による援助をしていくべきだと思いました。今回、ベトナムへ行って、思っていたのと違ったり、実際に行って、現地の人から話を聞いたからこそわかったことがすごく多かったです。今回学んだことを生かして、これからの自分の夢に向かって頑張っていきたいです。



12月1日（日）から25日（木）まで実施された「NHK海外たすけあい」キャンペーンの一端として、日赤鹿児島県支部は県内6会場（鹿児島市（2会場）、南さつま市、薩摩川内市、霧島市、鹿屋市）で街頭キャンペーンを実施しました。青少年赤十字加盟校の小・中・高校生は赤十字地域奉仕団や賛助奉仕団などと総一四〇名で「NHK海外たすけあい」の募金の呼びかけを行いました。募金額は合計で二四八、八〇〇円でした。皆様から寄せられた寄付金は、世界各地で苦しんでいる人々を救う国際活動の事業に使われます。ご協力有難うございました。



NHK海外たすけあい募金活動

平成25・26年度 青少年赤十字研究推進校研究発表会 報告 鹿児島市立喜入中学校

期日：平成26年11月18日（火） 場所：鹿児島市立喜入中学校

研究主題

あたり前を、あたり前に

～赤十字活動の担い手を目指して～

『あたり前をあたり前に』を目指す生徒

行動する生徒
何事にも興味をもち
何ができるかを考え
実行に移す
(実践)

表現する生徒
基礎基本を身につけ
自分の考えを
表現力する
(学習)

『気づき・考え・実行する』に基づく学習

気づく → 考える → 実行する → 問題解決

繰り返し行う → 問題解決の力を身につける

実行する 教科・道徳・特別活動 **表現する**

生徒会活動

考え 総合的な活動の時間

学校行事・部活動

気づき 地域活動

基礎基本

生徒の実態と願い 保護者・地域・職員の願い



『赤十字活動との出会い』、いつか担い手に



[日本赤十字社鹿児島県支部 防災教室]



[鹿児島県青少年赤十字賛助奉仕団 登録式 他]

『気づき・考え・実行する』の生徒会活動



[集え！プチボランティアに]



[お見舞いカード]

[キャップ等回収ボックス]

一日リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校

期日：平成27年2月7日(土)
 内容：非常食の実習、「災害に備え、できることは」、赤十字と青少年赤十字等
 参加校：前之浜、米ノ津東、尾崎、花野、(順不同) 瀬々串、垂水、清水、坂元台、向陽、福平

中学校

期日：平成27年1月17日(土)
 内容：非常食の実習、青少年赤十字と生徒会活動
 私たちの生徒会(ボランティア)活動、ワークショップ等
 参加校：加世田、武、川辺、南指宿、米ノ津、青戸、桜島、吉田南、細山田、金峰、知覧、喜入、南、出水、鹿屋東、吉野、福平

高等学校

期日：平成27年2月15日(日)
 内容：非常食の実習、春季総会創作活動等
 参加校：鹿児島水産、鹿児島女子、(順不同) 薩南工業、鹿児島情報、鹿児島



加盟校(園)数 (1月31日現在)

保育園(所) (23) 幼稚園 (40) 小学校 (268)
 中学校 (120) 高等学校 (20)
 特別支援学校 (2) 計473校(園・所)

★平成26年度新規加盟校(園)★

幼稚園	山(徳之島町)	
小学校	東桜島(鹿児島市)	瀬々串(鹿児島市)
	喜入(鹿児島市)	指宿(指宿市)
	松原(南九州市)	亀山(薩摩川内市)
	中沖(大崎町)	西原(鹿屋市)
	柏原(東串良町)	崎原(奄美市)
	名柄(宇検村)	亀津(徳之島町)
	山(徳之島町)	手々(徳之島町)
	内城(和泊町)	国頭(和泊町)
中学校	崎原(奄美市)	名柄(宇検村)
	手々(徳之島町)	北(天城町)
特別支援学校	県立南薩養護学校	

以上 計22校(園)

鹿児島県支部

「第3回100文字作文」コンクール

日本赤十字社鹿児島県支部と青少年赤十字指導者協議会では「人道・博愛」の精神の普及及び青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」の啓発に資するため、「100文字作文コンクール」を実施しました。県内の56校の小・中・高校生から4,632点の応募がありました。2月11日の審査会で各賞の審査を行い、優秀な作品を決定しました。

なお、今後は優秀な作品を作品集として作成し、各加盟校にお届けします。

今回は支部長賞と指導者協議会会長賞を紹介します。

支部長賞

- 鹿屋市立田崎小学校 1年 かんた たくや
- いちぎ串木野市立串木野小学校 3年 ふくどめ ひろと
- 鹿児島市立武小学校 6年 加来 愛羅
- 鹿屋市立鹿屋中学校 1年 谷口 広至
- 鳳凰高等学校 1年 川邊 葵依

指導者協議会会長賞

- 鹿児島市立武小学校 1年 すすむ みつは
- 徳之島町立神之嶺小学校 4年 福田 一颯
- 出水市立出水小学校 6年 上戸 桃華
- 鹿児島市立喜入中学校 1年 恒吉 雅哉
- 鳳凰高等学校 2年 平園 和